

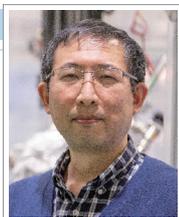


2021年11月15日着任

## 松井文彦

まつい・ふみひこ

極端紫外光研究施設  
光物性測定器開発研究部門 教授



2018年に主任研究員に着任、2021年11月に職位が変わりました。本号の編集担当をし、まるでマッチポンプで恐縮ですが、研究に関する詳細は研究室紹介をご覧ください。古寺巡りが趣味で白鳳仏が特に好きです。時代が切り替わる当時の最新技術による名品の瑞々しさに憧れます。そのような装置開発をライフワークにしたいと夢見ます。今後とも末永くどうぞよろしく申し上げます。

2021年12月1日着任

## 三輪邦之

みわ・くにゆき

理論・計算分子科学研究領域  
理論分子科学第二研究部門 助教



2021年12月1日付けで、石崎グループの助教に着任しました。光とナノ物質の相互作用、開放量子系でのダイナミクスに興味を持ち、単一分子分光やプラズモニクスに関する理論研究を行ってきました。これまでの経験を生かし、新たな研究を展開していきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

2021年12月1日着任

## CHAUHAN, Vikas Singh

光分子科学研究領域  
光分子科学第二研究部門 特任研究員



I have completed my PhD under the supervision of Dr. Raghavan K. Easwaran from Indian Institute of Technology, Patna India in August 2021. My area of Research was Quantum Optics (Theory and Experiment). After my PhD, I joined Prof. Kenji Ohmori's group at IMS, NINS, Japan. Here, I am part of the **Ultrafast Quantum Simulators and Computers with Ultracold Rydberg Atoms** project. Here, we use the ultrafast coherent control technique with attosecond precision developed by Prof. Ohmori and his group in the past and apply it to a completely different object like ultracold Rydberg atoms to develop a new type of Rydberg quantum simulators and computers.

2022年2月1日着任

## 大東琢治

おおひがし・たくじ

極端紫外光研究施設電子ビーム制御部門  
准教授 (クロスアポイントメント)



このたびに在職11年目の新人となりました(同誌の“分子研を去るにあたり”を参照のこと)。在籍した10年半のあいだ、心血注いで運営してきたビームラインを、今後の発展の期待とともに後任に託せるよう、もう1年貢献したいと思います。

2022年2月16日着任

## 大貫 隼

おおぬき・じゅん

理論・計算分子科学研究領域  
計算分子科学研究部門 助教



2019年に早稲田大学で博士(理学)を取得後、同大学での次席研究員を経て、2022年2月より岡崎グループの助教に着任いたしました。計算生物物理学を専門としており、蛋白質分子の物性やダイナミクスから機能が発現する機構について主に分子動力学計算を用い研究しています。分子研内外での研究交流を活かし、既存の枠にとらわれない新しいアイデアを生み出せるよう邁進いたします。

2022年3月1日着任

## 高谷 光

たかや・ひかる

特別研究部門 教授(兼任)



2019年12月より京都大学とのクロスアポイントメント准教授として分子研に在籍をさせて頂き、UVSORを中心に研究を進めさせて頂いていました。本年4月より帝京科学大学生命環境学部生命学科に教授として異動しましたので、兼任教授として継続して分子研でお世話になることになりました。本学での立上げが落ち着きましたら、大学院進学予定の4年生と一緒に分子研に滞在・実験をしたく思っています。どうぞ宜しくお願いを致します。



2022年4月1日着任

## 湯 之 也

TANG, Zhiye

理論・計算分子科学研究領域  
理論分子科学第一研究部門 助教

2016年に米国カリフォルニア州州立大学リバーサイド校にてPh.D.を取得後、名古屋大学、東京大学を経て2022年度に分子研に着任しました。これまでは、分子動力学手法を用いて生体系及び合成高分子系における熱力学、動力学、工学などの性質に関する研究を行ってきました。分子研では、様々な系に現れるダイナミクスの不均一性の解明とその理論の構築を目指して研究を展開したいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

2022年4月1日着任

## 小 林 稜 平

こばやし・りょうへい

理論・計算分子科学研究領域 計算分子科学部門  
日本学術振興会 特別研究員 (PD)

2021年3月に東京大学工学系研究科応用化学専攻で博士(工学)の学位を取得し、同大学の特任研究員を経て、2022年4月より日本学術振興会特別研究員として岡崎グループに着任しました。東京大学時代は酵素1分子の動きを顕微鏡で観察することで酵素の反応機構を解明する研究を行っていました。岡崎グループでは分野を変えて計算科学を学び、タンパク質が持つ反応制御機構の起源を解明する研究に取り組みたいと思います。

2022年4月1日着任

## 小 泉 愛

こいずみ・あい

理論・計算分子科学研究領域  
理論分子科学第一研究部門 特任研究員

2022年3月に東北大学大学院理学研究科化学専攻で博士(理学)を取得し、同年4月より斎藤グループに着任しました。学生時代には、分子動力学シミュレーションプログラムの開発とそれを用いた解析から液液界面で起こる相間移動触媒反応の反応解析を行ってきました。今後はこれまでの経験を活かしながら植物の光合成における光防御機構の解明に取り組みます。よろしくお願いたします。

2022年4月1日着任

## 高 橋 翔 太

たかはし・しょうた

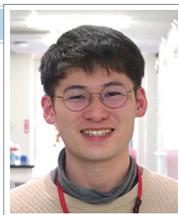
物質分子科学研究領域 電子構造研究部門  
日本学術振興会 特別研究員 (PD)

2020年3月に京都大学大学院理学研究科で博士(理学)の学位を取得し、民間企業での就業経験を経て、2021年より杉本グループで研究活動を行っております。学生時代には、超高速非線形分光を駆使して光と物質が混成した特異な量子状態のダイナミクスを調べる研究を行ってきました。本年度からは日本学術振興会特別研究員PDとしてさらに気を引き締めて研究に邁進してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

2022年4月1日着任

## 原 島 崇 徳

はらしま・たかのり

生命・錯体分子科学研究領域  
生体分子機能研究部門 特任研究員 (IMSフェロー)

2022年3月に東京工業大学大学院で博士(理学)の学位取得後、同年4月より飯野グループの特任研究員に着任いたしました。これまではプローブ顕微鏡を用いた生体分子の単一分子観察を専門として研究を行ってきました。今後は自身の一分子計測の技術・経験を活かしつつ、DNAやタンパク質による人工分子モーターの設計に取り組みます。どうぞよろしくお願いたします。

2022年4月1日着任

## 松 本 浩 輔

まつもと・こうすけ

生命・錯体分子科学研究領域  
生体分子機能研究部門 特任研究員

本年3月に東京工業大学物質理工学院応用化学系にて博士(工学)を取得し、4月から分子科学研究所飯野グループの博士研究員として着任致しました。学生時代には、液晶を用いた光機能性材料の創製をテーマに研究を行ってきました。素晴らしい環境で研究できることに感謝しながら、自身にとって新たなフィールドである1分子イメージングに邁進致します。どうぞ宜しくお願致します。



NEW STAFF

## 新人自己紹介

2022年4月1日着任

## 佐藤 啓文

さとう・ひろふみ

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員教授



1996年に京都大学理学研究科で学位取得後に分子研助手、故信定君らと飲み歩きました。2002年より京都大学工学研究科へ異動、現在同教授および福井謙一記念研究センター長を務めています。2006年度に客員研究部門助教担任の他、各種委員等で断続的にお世話になっていますが、こんなにも長く岡崎詣が無くなってしまったのは初めてです。任期中に天ころ、味噌煮込を頂きたいところです。

2022年4月1日着任

## 吉田 紀生

よしだ・のりお

理論・計算分子科学研究域

理論・計算分子科学研究部門 客員教授



分子科学研究所・助教、九州大学大学院理学研究科・准教授を経て、2022年3月より名古屋大学大学院情報科学研究科で研究を行っています。専門は液体の統計力学理論による溶液内化学・生物過程の理論研究です。助教として勤務させて頂いて以来、10年ぶりの分子研です。多くの方との交流し共同研究の契機とさせて頂ければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年4月1日着任

## 野口 博司

のぐち・ひろし

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員准教授



名古屋大学で学位取得後、2000年から3年間、博士研究員として分子研に在籍していました。その後、ドイツのユーリッヒ研究センターでの研究員を経て、現在は東京大学物性研究所で准教授を務めています。専門はソフトマター・生物物理で、最近では生体膜と曲率誘導タンパク質との相互作用などを理論、シミュレーションを用いて研究しています。どうぞよろしくお願い致します。

2022年4月1日着任

## 間瀬 一彦

ませ・かずひこ

光分子科学研究領域

光分子科学第四研究部門 客員教授



1992年4月から1999年7月まで分子研極端紫外光科学研究部門助手を務め、1999年8月から高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所に勤務していたのですが、久しぶりに帰ってきました。専門は放射光を利用した表面研究と、非蒸発型ゲッター (NEG) の開発です。極端紫外光研究施設 UVSOR をより良くするために尽力したいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

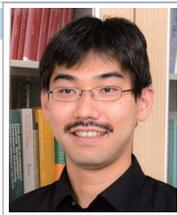
2022年4月1日着任

## 福原 武

ふくはら・たけし

光分子科学研究領域

光分子科学第四研究部門 客員准教授



2009年に京都大学で博士(理学)を取得し、東京大学、マックスプランク量子光学研究所での博士研究員を得て、2014年から理化学研究所で新しい研究室を立ち上げました。現在は量子コンピュータ研究センターにチームリーダーとして所属し、レーザー冷却などで極低温まで冷やされた原子気体を用いて、固体物性を研究する量子シミュレーションに取り組んでいます。冷却原子を用いた究極的な量子制御技術を開発し、新たな量子多体研究を切り拓いていきたいと思っています。

2022年4月1日着任

## 中山 泰生

なかやま・やすお

光分子科学研究領域

光分子科学第四研究部門 客員准教授



東京理科大学工学部で准教授を務めております。専門は有機材料の物性計測で、専ら「つくる」より「はかる」方を生業にしています。分子研とのご縁は2007年にUVSOR施設利用を採択いただいてから今年で15年となり、この間、UVSORのみならず協力研究などでも大変お世話になってまいりました。微力ながら客員として少しでも貢献できれば幸いです。よろしくお願い致します。



2022年4月1日着任

## 秋元 郁子

あきもと・いくこ

物質分子科学研究領域

物質分子科学研究部門 客員准教授



専門は光物性研究で、半導体や絶縁体の発光過程、光キャリアの物性などについて実験研究しています。分子研には、90年代後半にUVSOR学生ユーザーとして、近年は電子スピン共鳴装置の共同利用で、お世話になっています。半導体中に光生成した電子と正孔のスピン間相互作用の基礎物理を明らかにする研究をしています。微力ながらお役に立てることがあれば幸いです。よろしくお願いいたします。

2022年4月1日着任

## 尾坂 格

おさか・いたる

物質分子科学研究領域

物質分子科学研究部門 客員教授



広島大学での助教、理化学研究所での上級研究員を経て、2016年より広島大学大学院先進理工系科学研究科の教授を務めております。有機薄膜太陽電池などの有機デバイスの高性能化を目指して、新しい高分子系有機半導体材料の開発に取り組んでいます。皆様との交流や共同研究を通じて、分子研の運営や研究に少しでも貢献できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年4月1日着任

## 神谷 由紀子

かみや・ゆきこ

生命・錯体分子科学研究領域

生命・錯体分子科学研究部門 客員准教授



名古屋市立大学にて学位を取得した後、博士研究員・特任助教として2008年から2011年まで分子研に在籍しておりました。その後、名古屋大学にて助教・講師を経て、現在は准教授として務めています。人工核酸を研究対象として、材料や医薬品に関連する機能性核酸のデザインに取り組んでいます。分子研の先生方との交流・共同研究を通じて、新たな展開を拓くことができれば幸甚に存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年4月1日着任

## 稲井 直人

いない・なおと

計算科学研究センター

特任研究員



2022年3月に名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻で博士（理学）を取得し、4月から江原グループの特任研究員として着任しました。学生の頃は量子化学計算を用いて有機分子の電子励起状態からの緩和過程を研究していました。光機能分子や量子コンピュータなどの複雑な電子状態の研究にも取り組んでいけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2022年4月1日着任

## 藤田 浩正

ふじた・ひろまさ

研究力強化戦略室

特任専門員



3月に事務センターを定年退職し、4月から特任専門員として研究力強化戦略室でお世話になっております。一時的に学振、名工大、核融合研での勤務で抜けておりますが、昭和60年から平成、令和と約30年に亘り岡崎の事務で勤務してきました。歳をとった新人ですが、これまでの経験や知識を生かして研究所の皆様の役に立てればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

2022年4月1日着任

## 鈴木 規子

すずき・のりこ

協奏分子システム研究センター

階層分子システム解析研究部門 技術支援員



2022年4月より、古賀グループの技術支援員としてお世話になっております。以前は、生理学研究所の技術支援員としてマウスのお世話や簡単な実験などを担当していました。こちらでは、主に大腸菌を使った実験を教わっています。初めてのことも多いですが、丁寧にご指導いただき少しずつ仕事を覚えているところです。

どうぞよろしくお願いいたします。



NEW STAFF

## 新人自己紹介

2022年4月1日着任

## 原 田 晋 子

はらだ・くにこ

生命・錯体分子科学研究領域  
錯体触媒研究部門 技術支援員

2022年4月より、榎山グループの技術支援員としてお世話になっており、実験データの入力を担当させていただいています。化学分野にブランクがありますが、榎山先生をはじめ、研究室の方のサポートを頂きながら業務を行っております。少しでも早くグループのお役に立てるよう業務を行って参ります。今後とも宜しくお願い致します。

2022年4月1日着任

## 船 木 弓 子

ふなき・ゆみこ

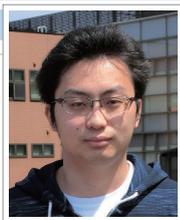
機器センター  
事務支援員

2022年4月より、機器センター・事務支援員としてお世話になります。文部科学省マテリアル先端リサーチインフラ・スポーク機関を担当させていただきます。所外利用者の皆様、所内の皆様、スムーズにご利用頂けるよう努めて参ります。新しくなった研究棟3階オープンスペースで、日々精進して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

2022年4月8日着任

## 柿 沼 秀 哉

かきぬま・しゅうや

生命・錯体分子科学研究領域  
錯体触媒研究部門 技術支援員

2022年3月に東邦大学大学院 理学研究科 化学専攻 博士前期課程修了し、4月より榎山グループの技術支援員としてお世話になっております。専門は構造有機化学・超分子化学で、環状ポリアミンを部分構造に持つ多環式クリプタンドの合成を研究しておりました。これまで培ってきた知識を活かして、少しでも研究をサポートしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

2022年4月16日着任

## MAHMOOD, Md Iqbal

計算科学研究センター  
特任研究員

I achieved a Ph.D. degree from Chiba University in 2013 on a computational study on the structural stability of membrane protein. Then I started work as a researcher in the field of theoretical and computational molecular science at Tokyo University. I worked with the Okazaki group from February 2018 to January 2021 at Institute for Molecular Science and moved to Nagoya University. Recently, I have joined Okazaki group again at Institute for Molecular Science/Research Center for Computational Science as a postdoctoral fellow in April 2022. Here my research focuses on dynamin protein assembly on the membrane. We investigate the protein conformational changes and how it responsible for constriction and scission of the membrane.

2022年5月1日着任

## 賀 来 美 恵

かく・みえ

機器センター  
特任研究員

東京薬科大学にて博士(薬学)の学位取得後、海洋バイオテクノロジー研究所や産業技術総合研究所及び理化学研究所等にて海洋天然物化学をはじめ、ケミカルバイオロジー及びNMRによる構造生物学に関する研究に携わってきました。分子科学研究所では文部科学省のプロジェクト業務を担当します。研究所内外の方々の有益な交流に微力を尽くす所存です。何卒よろしくお願い致します。

2022年5月1日着任

## 太 田 康 仁

おおた・やすひと

機器センター  
特任研究員

2006年に中部大学にて博士号を取得しました。2009年より名古屋工業大学の知財活用部門、2017年からは中部大学研究推進企画室にて研究成果を社会実装するための支援業務に従事してまいりました。2022年5月より機器センターの特任研究員として「文部科学省 マテリアル先端リサーチインフラ」の実務を担当することになりました。どうぞよろしくお願い致します。



2022年5月1日着任

## 枚本 泰伸

すぎもと・やすのぶ

極端紫外光研究施設  
特任専門員



5月よりUVSORにてお世話になっております。学位を取得後、ポスドクなどを経て名古屋大学とあいちシンクロトロン光センターで生体試料のX線小角散乱に携わってきました。分子研では、これまで縁のなかった紫外域や軟X線を扱った測定に戸惑いながらも皆様のお力をお借りして仕事に取り組んでおります、どうぞよろしくお願ひいたします。

2022年6月14日着任

## Shuyi Liu

メゾスコピック計測研究センター  
広帯域相関計測解析研究部門  
日本学術振興会 外国人特別研究員



Dr. Shuyi Liu obtained his doctoral degree in physics at Fritz-Haber Institute of the Max-Planck Society, Germany in 2019. After his doctoral study, he worked as a postdoc researcher at the same group for almost three years. He focused on studying light matter interaction and ultrafast dynamics at atomic scale and surface physics/chemistry by scanning probe microscopy. Now, he joined Institute for Molecular Science started from June of 2022 by the support of JSPS postdoctoral fellowship.

2022年6月16日着任

## 山西 絢介

やまにし・じゅんすけ

メゾスコピック計測研究センター  
繊細計測研究部門 特任助教



大阪大学大学院工学研究科精密科学・応用物理学専攻博士課程を修了し、岡本グループに着任しました。これまでには主に、光誘起力顕微鏡法の確立とそれを用いたイメージングを行ってきました。着任後もナノ光学における光圧を利用した新規のアプリケーションの実現に取り組んでいきたいと思っています。何卒宜しくお願ひいたします。